

キャベツとニンジンの栽培



毎日厳しい暑さが続いています、菜園でとれるトマトやナス、きゅうりなどの美味しさは格別ですね。今月は、秋にとれる品目の栽培方法です。



企画宮農課 大西 康之

キャベツの栽培

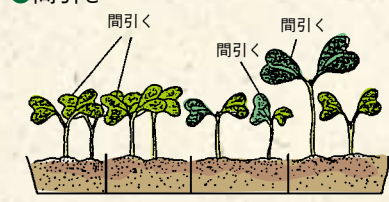
年内どりのキャベツは、7月中旬頃から種まきを始めます。

◆苗づくり

ペーパーポットに市販の育苗培土を入れて十分に水やりをしてから1穴に2〜3粒ずつ播き、種子が隠れる程度に覆土をします。発芽までは新聞紙をかけて乾燥防止に努め、発芽後直ちに新聞紙を取り除いて間引きを行います。その後、雨除けと温度の上昇防止を兼ねて寒冷紗のトンネル掛けを行います。水やりは、夏の高温期の苗づくりであり徒長を防止するためにもできるだけ控え目とし、朝に水やりをする夕方には表面が乾くぐらいの水量とします。

キャベツの栽培

3枚の頃にポリポットに移し替え、活着したら寒冷紗を取り除き、苗を風にあててガッチリした苗に育



●間引き
子葉が開いて本葉が見え始めた頃に、密生部や子葉が奇形な苗、異常に大きすぎる苗などを間引きます。

◆畑の準備

つよう心掛けましょう。
植え付けの10日前頃までに10平方メートルあたり堆肥20キロ、苦土石灰1.5キロ、化成肥料1キロを目安に施用し、うね幅150センチにうねを立てます。

◆植え付け

株間30〜35センチの2条千鳥に本葉5〜6枚で植え付けます。植え付け前日には植え穴に十分水やりをしておき、浅植えとともに早期活着を促します。



●植え付け苗
本葉5〜6枚の頃、ていねいに植え付けます。植える前にポット内にもたっぷり水をやっておきます。

ニンジンの栽培

◆畑の準備

種まきの10日前頃までに10平方メートルあたり堆肥20キロ、苦土石灰2キロ、化成肥料1キロを目安に

施用し、その後深く耕しうねを立てます。

◆種まき

ニンジンの種は吸水力が弱いので、種まきする場所にたっぷり水やりをしてからスジまきにします。種まき後は軽く(2〜3ミリ程度)覆土してからクワの背で軽く押さえ、その後は乾燥防止のために敷きワラで全面を覆っておきます。順調に生育させるためにも種まき後は乾燥させないよう、こまめな水やりを心掛けましょう。

◆間引き・土寄せ・追肥

1回目は本葉2〜3枚の頃に、込み過ぎたところを間引きます。
2回目は本葉5〜6枚の頃に、15センチぐらいの間隔となるように行い、追肥を施用し軽く土を寄せておきます。

この時期の雑草は早く伸びるので、こまめな除草も心掛けましょう。

●土寄せ

首の変色(緑色)を防ぐために土寄せを行います。



ニンジンの栽培